

『KUMON家庭学習調査 2025』を実施

家庭学習での「生成AI利用」を「増やしたい」が29.2%、「利用したくない・減らしたい」は28.9%

株式会社公文教育研究会（代表取締役社長：田中三教〔たなか みつのり〕）は、2025年12月、小学校1～3年生のお子さまがいる世帯の母親1,000人、父親800人を対象に、「家庭学習についての調査」を実施しました。この調査は、子どもの生活や家庭学習の状況、そして保護者の意識や行動の把握を目的として、2015年から毎年行っているものです。

【データから見えた10のトピックス】

- ① 子どもの家庭で過ごす時間は「テレビを見る時間」が最も多く1日平均45.4分
- ② 子どもが家で読書をする時間は「全くない」は29.5%
- ③ 家庭学習の時間の長さは「15分～30分未満」が最も多く40.5%、家庭学習の頻度は「毎日」が最も多く35.3%
- ④ 子どもの家庭学習の内容は「小学校の宿題」と「小学校の宿題以外の予習・復習」が減少
- ⑤ デジタル教科書は「好ましい」と評価している保護者は38.8%
- ⑥ デジタル学習の内容は「学校の宿題や課題」が46.1%
- ⑦ デジタル学習の時間の長さは増加傾向、頻度では「週5日」が最も多く20.1%
- ⑧ 子どもの家庭学習に「生成AI利用している」は23.1%
- ⑨ 家庭学習での生成AI利用を「増やしたい」という保護者が29.2%、「利用したくない・減らしたい」は28.9%
- ⑩ 学習サービスを選ぶ際、生成AIを導入しているサービスを「選びたい」という保護者が20.3%、「選びたくない」という保護者は32.1%

【調査概要】 調査方法：インターネット調査

調査対象：小1～小3の子がいる世帯の母親1,000人、父親800人

調査期間：2025年12月19日～12月24日

本内容は、弊社広報メディア『KUMON now!』にて3回にわたり連載します。

<https://www.kumon.ne.jp/kumonnow/topics/vol581/>

【リリース内容・取材に関するお問い合わせ先】

公文教育研究会 広報部 広報チーム

〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18 京急第1ビル12F

Email：koho@kumon.co.jp

TEL：03-6836-0030

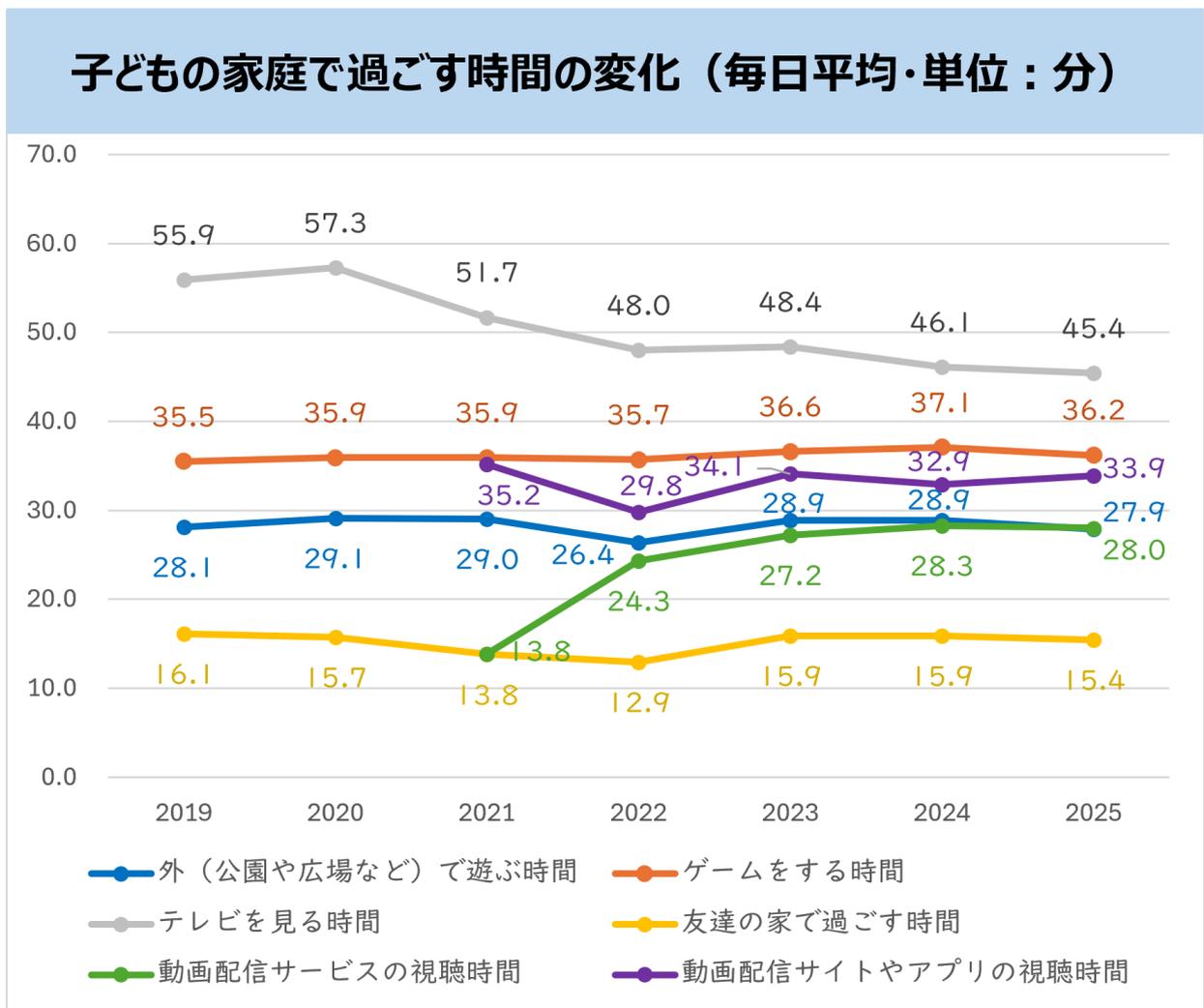
※過去のプレスリリースはこちらから

<https://www.kumon.ne.jp/press/>

子どもの家庭で過ごす時間の変化

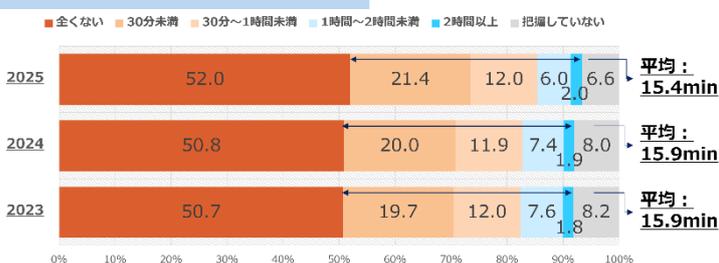
① 子どもの家庭で過ごす時間は「テレビを見る時間」が最も多く1日平均45.4分

子どもの家庭での過ごし方について聞きました。最も多かったのは、「テレビを見る時間」で1日平均45.4分でした。次に「ゲームをする時間」が1日平均36.2分、「動画配信サイトやアプリ（YouTube、TikTok、ニコニコ動画など）の視聴時間」が1日平均33.9分と続きます。



※「動画配信サービス」はPGC（Professional Generated Contents）、「動画配信サイトやアプリ」はUGC（User Generated Contents）を指します。

友達の家で過ごす時間（毎日平均）



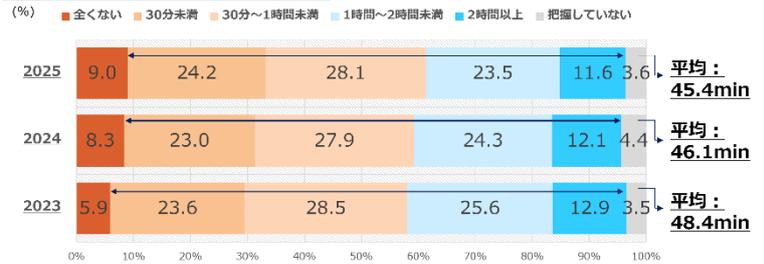
外（公園や広場など）で遊ぶ時間（毎日平均）



ゲームをする時間（毎日平均）



テレビを見る時間（毎日平均）



動画配信サービス（Netflix、Amazon Prime Video、Hulu、Disney+など）の視聴時間（毎日平均）



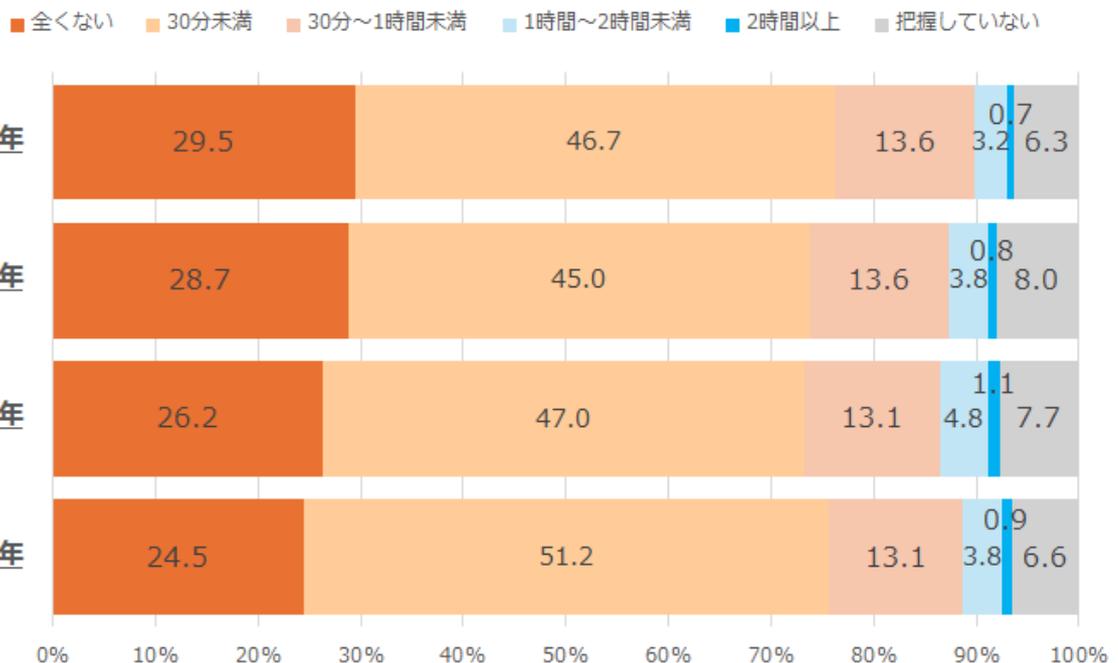
動画配信サイトやアプリ（YouTube、TikTok、ニコニコ動画など）の視聴時間（毎日平均）



② 子どもが家で読書をする時間は「全くない」は29.5%

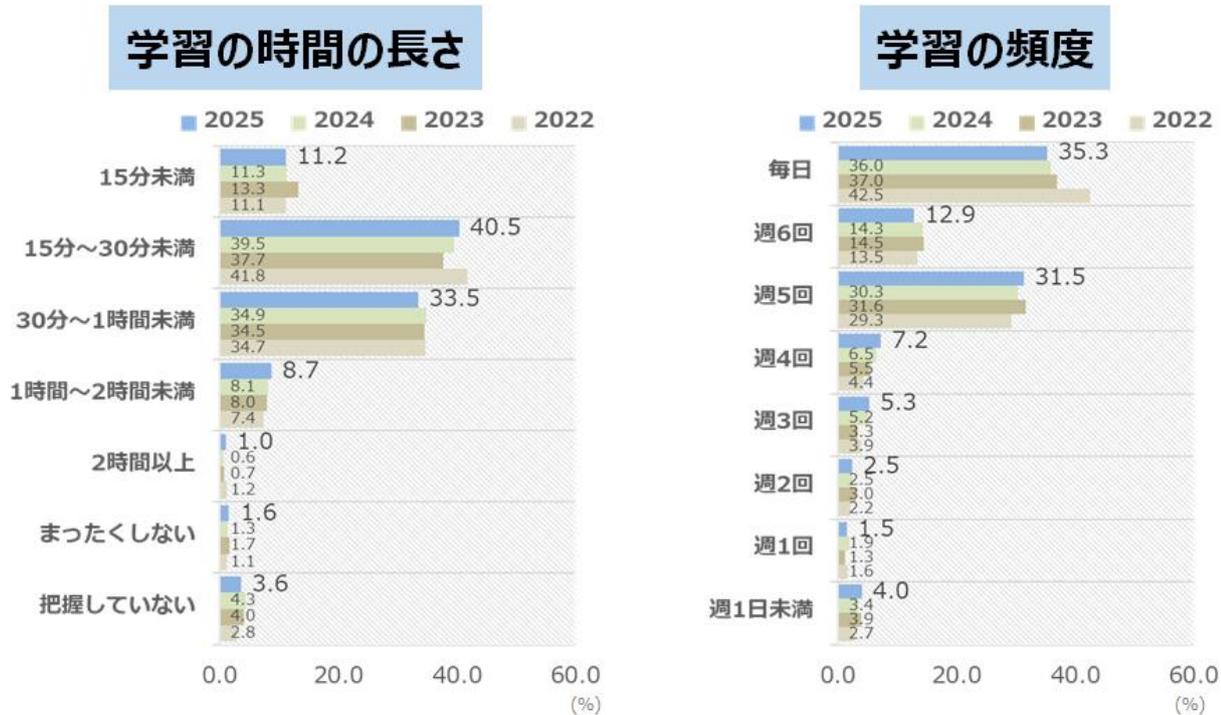
学校の教科書や学習のための本以外の読書の時間（新聞、雑誌、小説、マンガなど）について聞きました。「全くない」は29.5%、「30分未満」が46.7%となりました。「全くない」は年々増加傾向にあります。

教科書や学習本以外の読書の時間



③ 家庭学習の時間の長さは「15分～30分未満」が最も多く40.5%、家庭学習の頻度は「毎日」が最も多く35.3%

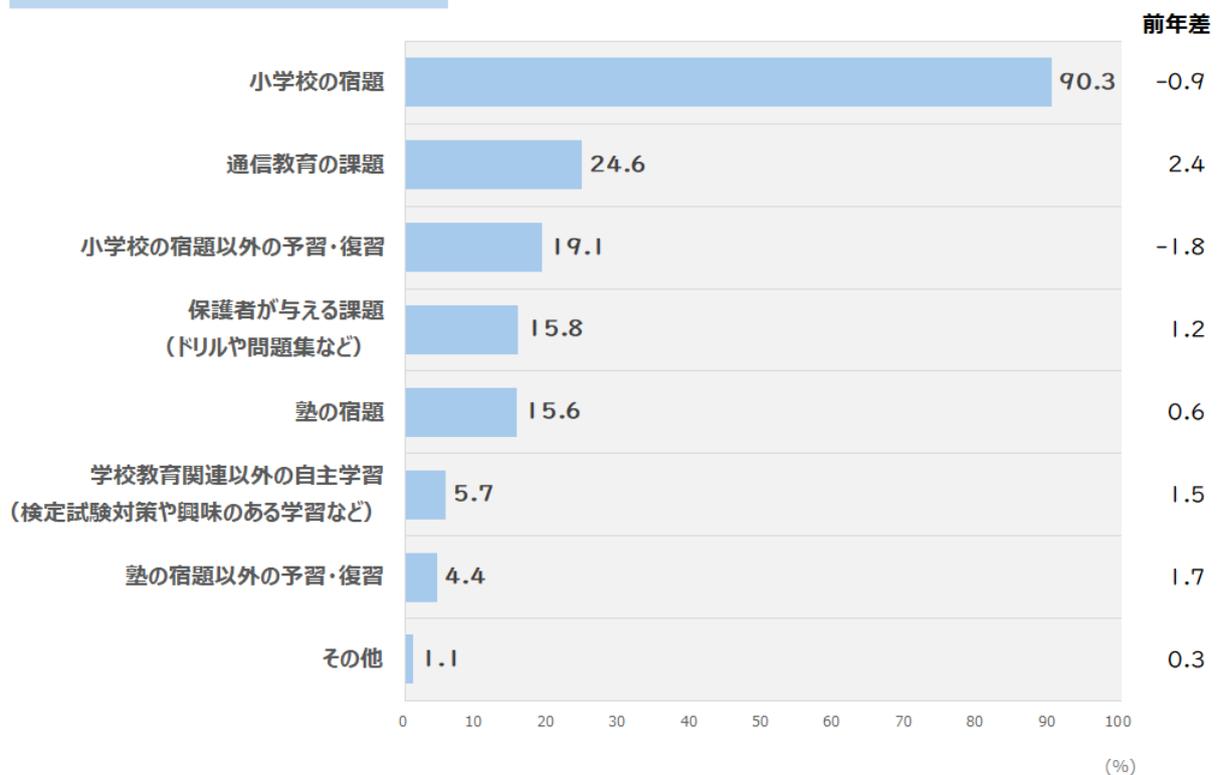
家庭学習の時間の長さについて聞きました。最も多かったのは、「15分～30分未満」で40.5%でした。次に「30分～1時間未満」が33.5%と続きます。家庭学習の頻度については「毎日」が35.3%と最も多く、「週5日」が31.5%と続きます。「毎日」は減少傾向にあることがわかりました。



④ 子どもの家庭学習の内容は、「小学校の宿題」と「小学校の宿題以外の予習・復習」が減少

子どもの家庭学習の内容（複数回答可）を聞きました。「小学校の宿題」は昨年に比べて0.9ポイント減少、「小学校の宿題以外の予習・復習」も昨年に比べて1.8ポイント減少しています。一方で、「通信教育の課題」は24.6%と、昨年に比べ2.4ポイント増加する結果となりました。

子どもの家庭学習の内容



デジタル学習の評価と実態の変化

⑤ デジタル教科書は「好ましい」と評価している保護者は 38.8%

デジタル教科書の評価について聞きました。「非常に好ましい」は6.8%、「まあ好ましい」が32.0%と、合わせて38.8%の保護者が「好ましい」と評価している結果となりました。一方、「まったく好ましくない」は7.4%、「あまり好ましくない」が12.3%と、合わせて19.7%の保護者が「好ましくない」と評価しており、中でも「まったく好ましくない」とする保護者は、2023年の3.6%に比べ、2025年は7.4%と約2倍となっています。

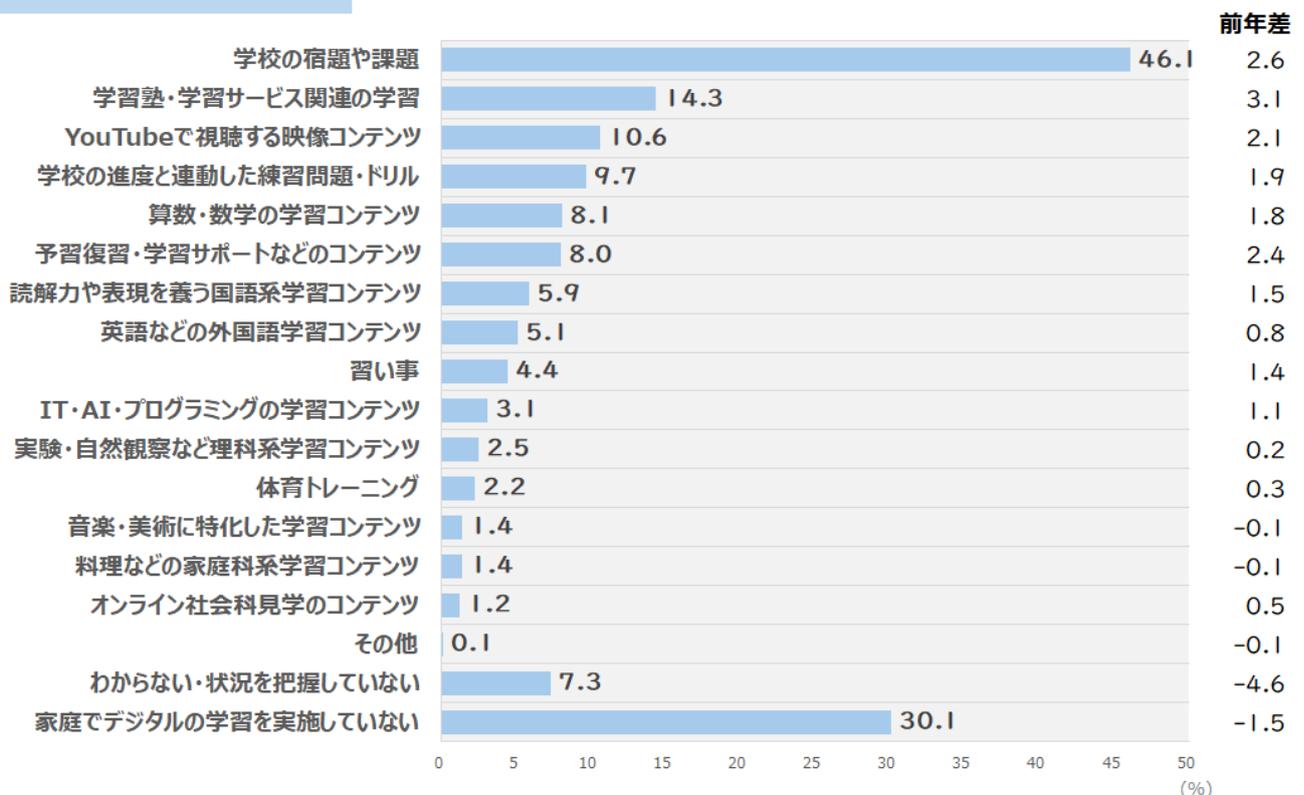
デジタル教科書導入の評価



⑥ デジタル学習の内容は「学校の宿題や課題」が46.1%

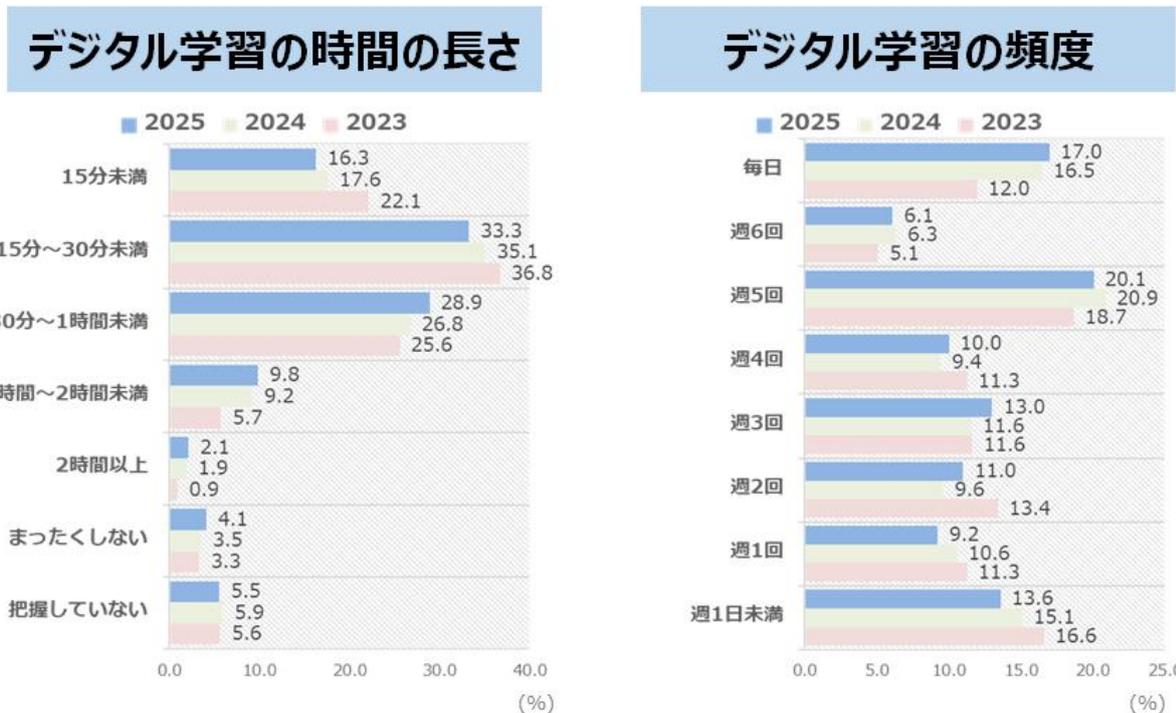
デジタル学習※の内容（複数回答可）について聞いたところ、最も多かったのは、「学校の宿題や課題」で46.1%でした。また「家庭でデジタルの学習を実施していない」と回答した保護者は30.1%という結果となりました。※デジタル学習とは、デジタル端末を通じて行う学習の全てを指します。

デジタル学習の内容



⑦ デジタル学習の時間の長さは増加傾向、頻度では「週5日」が最も多く20.1%

デジタル学習の時間の長さについて聞いたところ、「30分～1時間未満」「1時間～2時間未満」「2時間以上」が増加を続けており、「15分未満」「15分～30分未満」がともに減少を続けていることがわかりました。デジタル学習の頻度については「週5日」が20.1%と最も多く、「毎日」が17.0%と続きます。



家庭学習での生成AI利用の評価と実態の変化

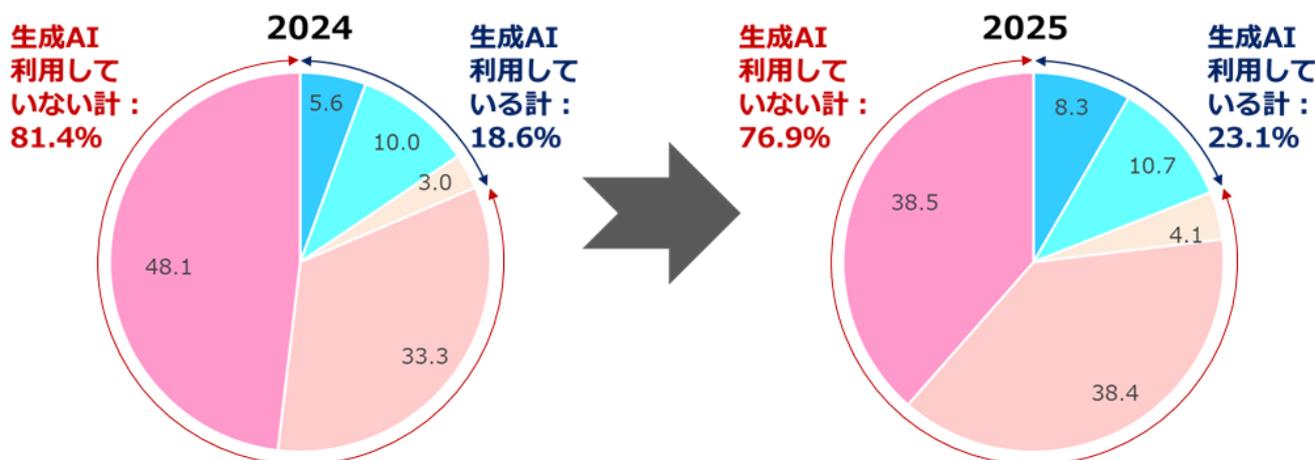
⑧ 子どもの家庭学習に「生成AI利用している」は23.1%

家庭学習における生成AIの利用状況を聞いたところ、「保護者自身が子どもの教育の目的で利用している」は8.3%、「小学1年生～3年生の子どもが学習の目的で利用している」が10.7%、「保護者と子どもの両方が利用している」が4.1%と、合わせて23.1%となり、昨年より4.5ポイント増加する結果となりました。

生成AI利用状況の変化

(%)

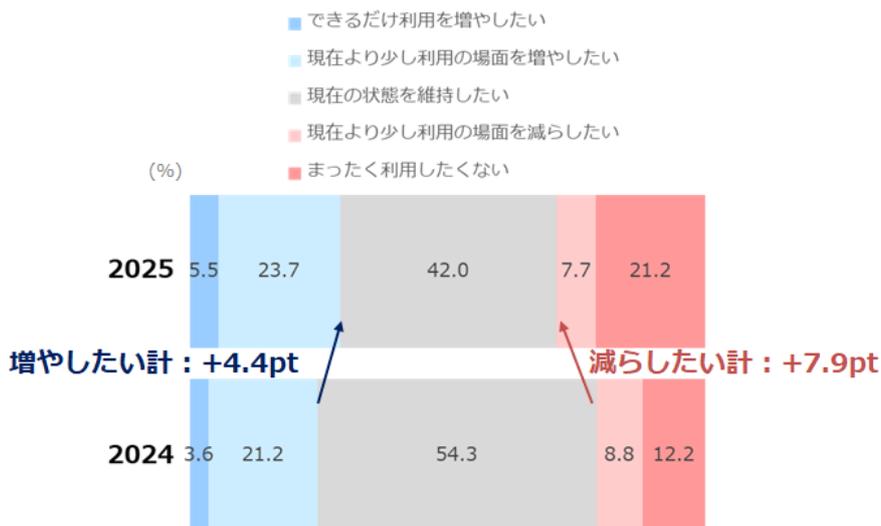
- あなた自身が子どもの教育（課題の出題、子どもの宿題の面倒など）の目的で、生成AI（ChatGPTなど）や生成AIを組み込んだアプリケーションを利用している
- あなたの小学1年生～3年生のお子様学習の目的で、生成AIや生成AIを組み込んだアプリケーションを利用している
- 1と2の両方に該当する（自分も子どもも利用している）
- 自分も子どもも生成AI（ChatGPTなど）や生成AIを組み込んだアプリケーションを利用していない
- わからない



⑨ 家庭学習での生成 AI 利用を「増やしたい」という保護者が 29.2%、「利用したくない・減らしたい」は 28.9%

家庭学習における生成 AI の利用についての評価を聞いたところ、「できるだけ利用を増やしたい」が 5.5%、「現在より少し利用の場を増やしたい」が 23.7%と、合わせて 29.2%となり、昨年より 4.4 ポイント増加する結果となりました。「まったく利用したくない」は 21.2%、「現在より少し利用の場を減らしたい」は 7.7%と、合わせて 28.9%となり、昨年より 7.9 ポイント増加する結果となりました。

生成AI利用の評価の変化



⑩ 学習サービスを選ぶ際、生成 AI を導入しているサービスを「選びたい」という保護者が 20.3%、「選びたくない」という保護者は 32.1%

学習サービスを選ぶ際の生成 AI の影響について聞いたところ、生成 AI を導入しているサービスを「できるだけ選びたい」が 4.4%、「まあ選びたい」が 15.9%と、合わせて 20.3%となりました。一方、「まったく選びたくない」は 18.8%、「あまり選びたくない」は 13.3%と、合わせて 32.1%となり、「選びたくない」と回答した保護者が「選びたい」と回答した保護者より 11.8%多い結果となりました。

学習サービスを選ぶ際の生成AIの影響

